

日本民家園協議会（S60年開始）は園長の諮問機関で、学芸等業務（建築・民俗、及び教育普及部門）、運営管理業務の双方を見渡し、長期的・学術的な視点や社会教育・学校教育・公募市民等幅広い視点からの助言・提言を行っている。また、H21年度からは毎年「事業評価シート」を元に外部事業評価を実施している。H26年度まで、日本民家園条例及び日本民家園協議会規則により設置されていたが、H27年度改選期から組織を変更、川崎市社会教育委員会議の日本民家園部会として、機能を存続させる予定である。

10人の委員で構成。2年任期。

内訳は、学識経験者4人（建築・民俗・博物館学など）、

学校関係者2人（小学校、中学校の社会科研究会長）、

社会教育関係者2人（数年前から1人は家庭教育関係者、文化財友の会、

多摩文化財愛護ボランティア、炉端の会、ままとんきっずなど）、

公募市民2人。

炉端の会会長が出席するようになったのは、H9年度からである。

H9-10年度 今村さん（1G会長）

H13-14年度 林さん（2Gリーダー）← 2Gはリーダーと呼んだ。対外的には1～3Gで交替で会長と名乗った。

H15-16年度 遠藤さん（3G会長）

H17-19年度 由解さん（会長） 3年会長を務めた。

H20-21年度 櫻井さん（会長）

以後、歴代会長が会長に就任している間の協議会委員を担っている。

H26年度は、野田会長がメンバーに名を連ねている。

H21年度から年4回開催（外部事業評価も実施するため、以前より回数増）され、最近の協議内容は、事業評価と園への提言が主になっている。H24年度には、園長から「今後の日本民家園の運営のあり方」について諮問があり、H25年6月に「川崎市立日本民家園における学芸業務の充実にむけて（提言）」と題する答申を行った。

以下は、H26年度第2回（7月）に行われた会議の内容である。

報告 1) H25・26年度予算について（柳さん）

2) 指定管理者の人事関係について（園田さん）

3) 工事（屋根補修・総合防災・耐震補強）について（外山さん）

議事 H27年度事業計画説明・および質疑

連絡 次回日程と今後の予定（内容を含む）

配布資料 H25・26年度予算比較表

H27年度事業評価シート（案）とその添付資料

前回議事録、民家園広報物

（編集委員 10期 土曜 水野）